

令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（3日目）

（令和4年3月7日 午後2時10分）

●議長（佐藤武雄） 休憩前に続き、会議を開きます。

通告の4、片野良之議員。

1 除雪支援体制への町の考えは

議席番号5番 片野良之議員。

◆5番（片野良之） 議席番号5番、片野良之です。明確な答弁を求めます。まず初めに、1月会議にて可決された、米価下落に対する稲作農家への支援策について、何件もの農家の方から、町に対する感謝の声が寄せられています。金額の多寡はあるでしょうが、行政が自分たち農家の事を支えようとしていることを、大変喜んでいる声が多く聞かれました。決意された町長や迅速な対応を行った担当部署職員の方々を高く評価したいと思います。

それでは通告に従って質問いたします。この冬は積雪量も多く、町民生活には少なからず影響が大きかった冬となりました。降雪も随分と落ち着きを見せ始め、芽吹きの春が待ち遠しい季節になりましたが、改めて来年度へむけた除雪支援体制の町の考えをお聞きしたいと思います。随分と前になりますが、雪下ろしや除排雪のサポート体制を構築するために、栄村方式の採用を提案したことがありました。会計年度任用職員制度を活用して、冬季間の雇用の創設や町内の高齢化や増えつつある独居の方などへの除排雪の支援を進める上で、有効かつ効果的だと考えますが、町ではあれ以降どのように検討されたのか、またされなかったのかを伺いたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 片野議員のご質問にお答えをさせていただきます。今年は本当に雪が多くて、久しぶりと言いますか、大変な積雪量を今でも見ているわけでございます。そんな中で、私ども町、いわゆる行政の立場としましても、1月の18日に大雪の警戒本部を設置をさせていただいて、それぞれその対応をしてきたところでございます。現行の中で各種支援員制度、あるいは業者もお願いしながら、特に必要とされている世帯の排雪と言いますか、屋根の雪下ろし等々をやらせていただいていたということでございます。基本的には、そういうことで、雪の、今年多かったというようなこともございまして、それぞれ担当課には、柔軟な対応をしてくれということで、柔軟な対応をしてくれているという状況でございます。今、栄村方式ということで、一定期間会計年度任用職員のような形で雇って、そしてその冬、その任に当たったらどうかということでございますが、私もまだ具体的に良く承知しておりませんし、担当課の方で、また

令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（3日目）

後程答弁があらうかと思いますが、それぞれ置かれている条件も違うかなど。そしてまた栄村さんの場合には、いわゆる道路除雪だとか、そのへんも兼ね合わせたような状況の中で、そういう制度を立ち上げているということでございます。その事を持って、信濃町がその制度をそっくり良いかどうかは、なかなか難しいところがございます。ただ現状として、今のこの信濃町で行っているそれぞれの支援員の皆さん方、この人材の確保というが、毎年厳しい状況になってきているということは事実であります。そういった中では、近い将来と言いますか、今後に向けてどういう方法が考えられるかということは、検討を十分していくことが必要だろうと思っています。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆5番（片野良之） 今町長の答弁にありましたように、栄村と信濃町では、置かれた状況、環境が違うのは重々承知しております。私もそっくりそのまま、栄村方式を持ってくるのではなく、その方法を使って信濃町に合わせた中での対応が可能ではないかと思って提案をしております。今月に入ってから町内において、屋根に積もった大雪のために倒壊した建物がありました。空き家であったり、高齢や障害のために雪下ろしが行えず、軒先が壊れた建物も、少なからず見受けられます。自己責任だけにとどめるのではなくて、改めて、この会計年度任用職員制度などを利用した除排雪支援の栄村方式の採用を来年に向けて提案したいと思います。行政としての住民福祉の向上の視点と、防災からの視点でどのように考えられているのか、それぞれ担当の課にお聞きしたい、伺いたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（柄澤 豊） はい。議員さんのおっしゃる栄村方式でございますけれども、冬季間の12月の中旬から3月31日の間、雪害対策救助員という名称で、会計年度任用職員約20人採用をして、村内5地区に分けて高齢の方、障害の方、病気などにより自力で除雪が困難な世帯の住居建物の雪下ろし、それから除雪等々を行う職員でございます。そんな中で、栄村さんにつきましては、過去にその制度を発案した時に、とても高齢の方が、その除雪で怪我をされたり、そういうことが多くて、いい方法がないかというようなことで、検討されて立ち上げた制度とお聞きをしております。会計年度任用職員で採用をしますので、その雪下ろしだけではなくて、一部道路除雪とか、そういうものも含めて作業に当たっているんだとお聞きをしております。うちよりも豪雪地帯の、もっと豪雪地帯の栄村の制度でありますけれども、栄村の実態に合った良い制度だと思いますし、当町が参考になるところも、多々ございます。ただなかなかその会計年度任用職員を20人採用をして、そこにお金を投じてやる制度が、うちの当町とすれば適切なのかという事でございますけれども、確かにそこまでやれば充実して良いかもわかりませんが、当町としては除雪支援体制の福祉的な支援を目的として、や

令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（3日目）

はり高齢者や障がい者、生活保護などを受ける方など、除雪にかかる資金面や、その除雪作業を担うご家族が、近隣にいらっしゃらない世帯などを対象に登録除雪支援員制度、それからそこに該当しない方については、シルバー人材センター作業員、それから場合によっては、町内の建設事業者の皆さんにご協力をいただきながら、依頼者宅と作業員をマッチング調整を職員がしまして、当然民生委員さんも関わっていただいて、ご協力をいただいてやっておるんですけれども、そういう対応をさせていただいているところでございます。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆5番（片野良之） 確かに今、説明していただいたように、今年は大雪でしたから、一昨年みたいに雪が少ない、そういった年も確かにあります。20人の採用が、というところをまねするわけではないんですが、町内で地域によって積雪量は大きく異なってきます。例えば古海や熊坂、高沢、山桑などと柏原や古間、富士里では、大きく差があります。アメダスだけではなく、町内に設置されている積雪計の数値を基にして、状況に応じた住宅除雪支援員制度の柔軟な対応を行う必要があると思います。今、課長の答弁で、柔軟に対応するようにしているという話もありましたし、町長の答弁でも、柔軟な対応をするように各部署に指示をしているという答弁がありました。そこで、すでに行われているというふうに、今聞いてはいるんですが、知らない住民の方も少なくないと思います。そして、この住宅除雪支援員制度、これの対象の拡大や制限の緩和などを、住民本位で構築するべきだと思うんですが、今後さらにその方向で発展させていく考えがあるかどうかを伺いたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（柄澤 豊） はい。先ほど町長の方からも、柔軟に対応してくれということで、うちの方も対応してございますし、そういった事で、私らも努力をしております。住宅除雪支援員制度の対象の緩和でありますとか、制限の拡大でありますとかというご提案だと思うんですけれども、全くルールがなくというわけにはいきませんので、当然その要綱もございしますが、目安を定めて対応をしています。当然その信濃町は地区によって積雪量も違いますので、野尻方面や古海、熊坂方面へ行きますと、やっぱりもちろん山桑、高沢方面もそうですし、本当に豪雪です。そんなこともありますので、目安として、野尻地区4回でありますとか、柏原地区3回でありますとかという目安は定めておりますが、当然今年の場合は、3回や4回では足りませんでしたので、マッチングする中で、除雪支援員さんをお願いをして、5回6回といふふうに、雪下ろしもしていただきました。そんな中で、待たなしでしたので、補正予算のタイミングもちょっとございませんでしたので、予備費等も充当させていただいて、順次対応をしまいたところでございます。当然その家族の方の中に、支援して下さるとか、また近所で

令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（3日目）

近隣で、近所のお宅でも支援して下さるとかというお宅については、できるだけ、そういう皆さんにもご協力をいただいてやっていますし、どうしても支援して下さる方がいないという部分については、柔軟に対応しまして、業者も紹介したり、シルバー人材センター、軽度生活支援ですかね、そういったのも活用させていただいて、柔軟に対応させていただいているところでございます。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆5番（片野良之） ぜひとも今後とも柔軟な対応を、住民本位の対応を進めていただきたいと思います。そして、空き家になっている家、この雪下ろしについて少しお伺いしたいのですが、先日空き家になっている実家の雪下ろしのために、信濃町に帰ってこられた方と少しお話する機会があったんですが、定年前は大雪が降って、雪下ろしをやらなければと思ってもなかなか来られなかった。定年になって、やっと来ることができるようになったが、道路から家にたどり着くだけでも大変で、行政からの支援があれば、ずいぶんと助かるんだけどなという事を、話されている方がいました。実際、今年の大雪、本当に道路から家に行く、納屋から除雪機を取り出す、玄関までたどり着く、そこまで雪を掘るだけでも、半日、一日終わってしまうような場合もあったと思います。持ち主がはっきりしてれば、そういった方々に、はっきりしていないのであれば、どういう形で、建物が倒壊しないように、雪下ろしをしたり、促したりするのか、そのへん今、どういう形で対応されているのかをお聞きしたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（柄澤 豊） 今ほどのご質問ですけれども、住民福祉課といたしましては、基本的に高齢者ですとか障がい者等、生活弱者に対する支援制度ということで、支援員さんの人数も、限りがある中で対応をさせていただいています。町外に出られている方とか、そういった方で空き家になっている方もございます。本当に今年の場合は大雪で、大変だった場面もあったと思いますけれども、町も全てフォローできるわけではありませんので、そういう部分のご理解をいただきたいということでございます。それで、空き家につきましても、いろいろな空き家の種類と言いますか、空き家になっているその理由がございまして、例えば介護等で、越冬でほかの施設に、冬季間おられるというような場合には、うちの方に申請をいただければ、対象の範囲であれば、除雪支援なりシルバー人材センターなりへお願いをして、対応可能でございます。ただその空き家の、どうしてそう空き家になっているのかという条件にもよるんですけれども、その不在であったり、そういった方については、建設水道課の方にお問い合わせ、場合によっては危険であるとか、そういう場合には、建設水道課の方で、地主さんと言いますか、その地権者、持ち主に連絡を取る中で対応しているというのが現実でございます。

令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（3日目）

●議長（佐藤武雄） 海口建設水道課長。

■建設水道課長（海口泰幸） はい。ただ今住民福祉課長の方からお話がありましたけれども、除雪につきましては、役場の各課が連携いたしまして、その任務に当たっております。先ほどありました除雪支援員の関係につきましては、住民福祉課の方で担当しているわけなんですけれども、建設水道課といたしましては、危険が予見される場合の空き家ですとか、所有者が町外にいらっしゃる方とか、そういう方につきましては、係員が、住民の方から状況報告いただいている場合もありますし、あとそれから職員の方が、随時パトロール等をしておりまして、状況を確認して歩いております。それによりまして、土地ですとか建物に適正な管理を行うように、その持ち主の方々に、今こんなに雪が積もっているの、雪落ちそうですから、どうぞ屋根の雪下ろしをしてくださいますとか、そういった事の指導を含めまして、文書を発送をしたりしております。ちなみに今年度につきましては、10件程度ほど、そういうお宅がありましたので、除雪の方をお願いしているケースもあります。それによって屋根の雪下ろしをさせていただいたりですとか、また業者の方をお願いして、片づけていただいているという、そういうケースもありますので、ケースによるかとは思いますが、町としても、そういったところのできる限りの手続き的なことはしております。ただ、現時点において、代行的な支援で、こっちの方で雪を下すとかという、そういったところについては、建設水道課の方では、今ちょっとできませんので、ご了承をいただきたいかと思います。以上です。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆5番（片野良之） 想像していた以上に柔軟な対応をされていることを、今確認できました。それから、今住民福祉課、じゃなかったすみません、建設水道課長からの答弁がありました。この町内の町道、たくさんあります。この町道の中で、家に隣接というか、家に面しているような町道で、全体の何パーセントぐらい除雪が今、行われているのか。ざっとの数字でも構わないんですが、お聞きしたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 海口建設水道課。

■建設水道課長（海口泰幸） 片野議員のご質問なんですけれども、ちょっと正確な物と言うんですか、大まかでもちょっと、こちらの方で数字を持ってませんので、大変申し訳ないですけれども、お答えできませんのでよろしく申し上げます。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆5番（片野良之） 今、質問したのは、私も本当にどのぐらいの数字が出るかというの

令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（3日目）

は、全く予定もしていなかったのですけれども、町民の方から、町道なんだけど、道が狭くて機械が入れなくて、除雪がしてもらえないという声が、いくつか寄せられているんです。そういったところに対する把握が、どのくらいできているのかなというのを聞きたくて伺いました。今日答弁する必要はありませんが、なるべくそういった所が、少なくなるような形での対応を、今後お願いしたいと思います。

それから、信濃町は特別豪雪、いわゆる特豪になっています。この特豪になっている事によって、申請することで、金額はちょっとわかりませんが、交付金が下りてくるんではなかったかと思うんですが、当町では年間にいくらかの交付金が下りてきて、その財源を使って、何を行っているのかななどを、予算書の中で、ちょっと私、見つけることができなかつたので、どのようになっているのか、伺いたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 松木総務課長。

■総務課長（松木和幸） はい。予算関係ですので、総務課の方でお答えさせていただきます。特豪というわけではないんですが、普通交付税と特別交付税で積算されております。普通交付税の中では、積雪補正という、補正係数で計算をされておりまして、年間1億900万円ほど。これは道路の除排雪や何かも含まれておりますし、公共施設の除排雪も含まれているところがございます。特別交付税でございますが、その道路や公共施設の除排雪、それと福祉政策の住宅支援などを含んだ、これ実際に積雪でかかったお金を基に算定をされるわけでございますが、そこから普通交付税できている分を除いて、また算定されるわけですが、それが約9800万弱ぐらい来ております。実際に今お話したのが、令和2年度分でございますので、合計で2億690万ほど、国から来ておりますが、実際にかかったお金は2億7800万ほどということになりますので、一般財源として7100万ほど、町からは出ているという形になります。以上です。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆5番（片野良之） 町からの持ち出し分が7800万円ほど、令和2年度ベースでもあるということで今伺いました。思った以上に、予算が来ているのかなと思ったのですが、今これは、除排雪それとその支援、道路の除雪、そういったものに使われていると、今お聞きしたんですが、これは全国積雪寒冷地帯振興協議会が国に行っている要請している交付金が入っているものなのか、入っていないものなのか、お聞かせください。

●議長（佐藤武雄） 松木総務課長。

■総務課長（松木和幸） はい。今申し上げた金額は、普通交付税ならびに特別交付税で算定されている金額でございます。以上です。

令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（3日目）

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆5番（片野良之） では、今私の方で聞きました全国積雪寒冷地帯振興協議会で国に要請している交付金ではないということで、よろしいでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 総務課長。

■総務課長（松木和幸） その通りです。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆5番（片野良之） この全国積雪寒冷地帯振興協議会、当町も加盟しているんですが、この理事には阿部知事や飯山市長、先ほどから良く名前が出ました栄村の村長、それから隣の妙高市長も名を連ねています。こういった所で協働して、国に予算要望というか、交付金の申請などを上げているわけですが、当町としては、特にどのような取り組みをされているのか、また協働での取り組みなど、聞かせられ可能であれば、お聞かせください。

●議長（佐藤武雄） 海口建設水道課長。

■建設水道課長（海口泰幸） はい。ただ今、片野議員さんからお話のありました全国積雪寒冷地帯振興協議会でございますけれども、こちらにつきましては、過日令和4年の2月17日で、新潟県知事が会長になっておりまして、今回の大雪に対します緊急要望という形で、活動を行いました。それでそれに関連する中で、当町もそちらの方に関連しているということで、現在、国交省所管の臨時道路除雪費の補助事業について、要望しているところでございます。まだちょっとそちらの方の状況、交付決定ですとか金額とかは、まだ決定されてこないんですけれども、一応今、要望をしているというような、そういった状況でございます。以上です。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆5番（片野良之） ぜひ周りのそういう自治体と一緒に連帯しながら、この交付金を受けられるように頑張ってください、その交付金を財源にして、より良い住民生活を維持できるような除排雪システムの拡大構築を、行っていただきたいと思えます。行政も住民も住み良い信濃町を目指しているわけです。何でもかんでも行政がやらなければいけないという事を言いたいのではなく、お互いにより良いものを目指すために、真摯に向き合い住民本位の施策を提案しまして、今回の私の一般質問を終わります。

●議長（佐藤武雄） 以上で片野良之議員の一般質問を終わります。この際申し上げます。

令和4年第420回信濃町議会定例会3月会議会議録（3日目）

2時50分まで休憩いたします。

（終了 午後2時27分）